

# 肝付町の 教育・文化・スポーツの



教育長  
コラム  
Vol.15

今回のテーマ

## 教育の情報化

国（文部科学省）が推し進めた「GIGAスクール構想」により、市町村における「1人1台端末」の整備が進み、本町でも小・中・義務教育学校（以下「学校」という。）においてタブレットを活用した様々な教育活動が行われています。



▲校外学習でのタブレット活用の様子（宮富小）



▲音楽の授業でのタブレット活用の様子（国見中）

これらの活動は、これからの未来を生きる児童生徒に情報モラルを含む情報活用能力を身に付けるため行われているものです。

### 「情報活用能力」とは？

学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力であり、さらに、このような学習活動を遂行する上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等も含まれます。

一方で、児童生徒がスマートフォンなどを通じてインターネット上のトラブルに巻き込まれたり関わったりする事例の多くは、各家庭において保護者が利用させた通信サービスに起因するものです。

このような状況を踏まえ、教育委員会では、保護者も活用いただけるデジタル教材を導入するなどして、児童生徒の情報モラルの育成に取り組んでいます。



▲オンライン学習教材「DQ World」

また、肝付町教育委員会では、8月30日（水）に開催する教員を対象とした研修会の講師に、ネット社会の青少年健全育成活動に取り組む戸高成人氏（NPO法人ネットポリス鹿児島理事長）を招聘することとしています。

保護者や地域住民の皆さんも参加可能ですので、是非ご参加ください。